

速報データを使用しているため今後修正されることがあります。

# 平成27年9月台風17・18号 江戸川出水速報（第2報）

1. 概要
2. 気象概要
3. 出水概要
4. 江戸川河川事務所の体制等
5. 江戸川河川事務所の取り組み



利根川・江戸川合流部出水状況



三郷排水機場付近出水状況

国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所

# 1. 概要

利根川水系**中川**では、吉川水位観測所(埼玉県吉川市平沼地先)で、**はん濫危険水位を超えた。**

利根川水系**綾瀬川**では、谷古宇水位観測所(埼玉県草加市松江地先)で、**はん濫危険水位を超えた。**

利根川水系**江戸川**では、松戸水位観測所(千葉県松戸市松戸地先)で、**水防団待機水位を超えた。**

平成27年9月7日3時に日本の南で発生した台風18号は、やや発達しながら北上を続け、9日10時過ぎに愛知県知多半島に上陸しました。その後も台風は北上を続け、9日14時前に日本海へ抜けた後、21時に温帯低気圧に変わりました。

また、台風の接近により本州南岸に停滞していた秋雨前線の活動が活発となり、9日～10日は、台風18号や台風から変わった温帯低気圧の影響による暖かく湿った南よりの風と台風17号からの東風が関東地方で収束したため、南北に伸びる「線状降水帯」が発生し、長時間居座ったことから大雨が続き、栃木県日光市を中心に記録的な降水量となり、鬼怒川水系の川治ダムにおいては600.4mmの降雨を記録しました。

中川、綾瀬川流域では、9月6日の16時頃から10日23時頃まで降雨が続き、中川流域での累加雨量が272.7ミリ、綾瀬川流域での累加雨量が328.9ミリとなりました。

流域内で特に雨量が多かったのが、埼玉県の越谷や千葉県の野田であり、越谷では、累加雨量が402ミリ、野田では392ミリと観測史上最大級の降雨となりました。

中川の吉川水位観測所と綾瀬川の谷古宇水位観測所では「はん濫危険水位」を超える出水となり、江戸川の松戸水位観測所では水防団待機水位を超えました。

このため、江戸川河川事務所では、首都圏外郭放水路、綾瀬川放水路、三郷放水路及び坂川で、各排水機場を稼働し、洪水のはん濫を防ぎました。

9日16時 気象衛星 (日本気象協会より)



9日16時 レーダー図 (日本気象協会より)



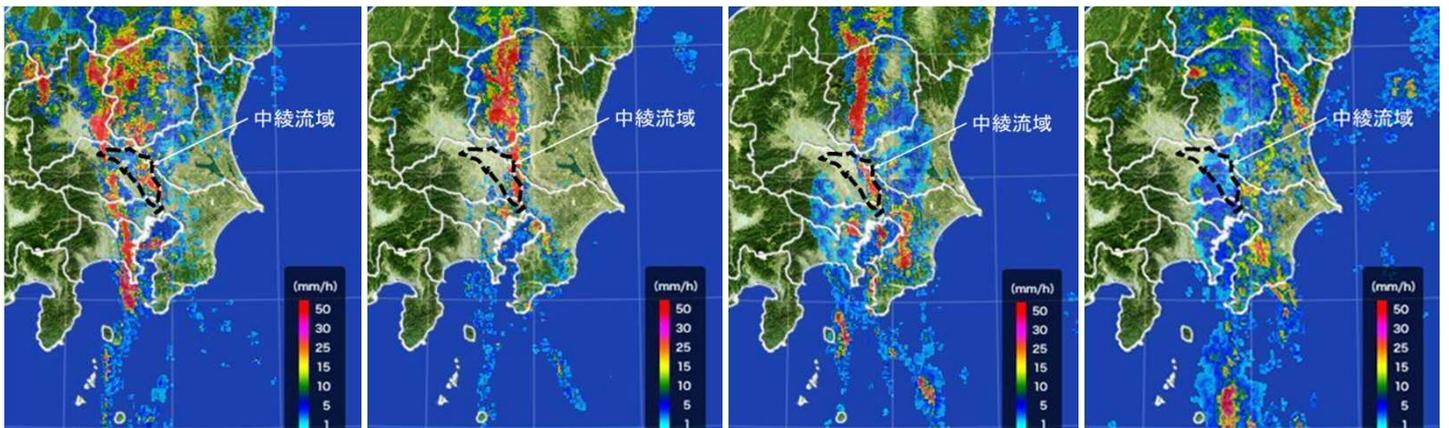
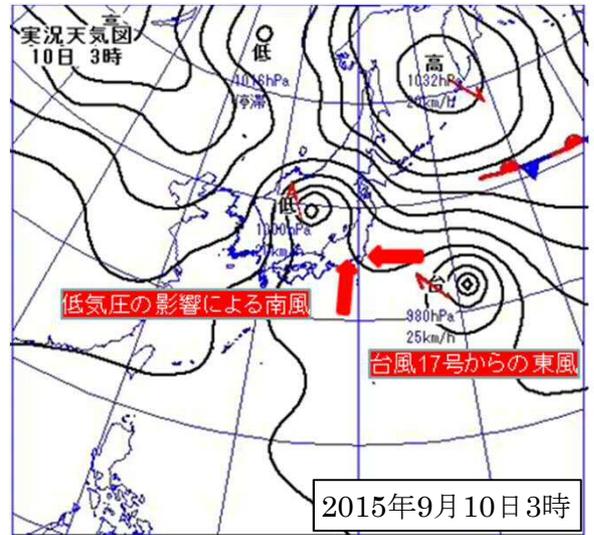
## 2. 気象概要

### 雨の状況

右の図は10日3時の実況天気図を表しています。

台風18号や台風から変わった温帯低気圧の影響による暖かく湿った南よりの風と台風17号からの東風が関東地方で収束したため、南北に伸びる「線状降水帯」が発生して長時間居座ったことから大雨が続きました。

下の写真はレーダー図を表していますが、時間が経過しても降雨強度が強い赤い部分が関東地方に掛かっていることが判ります。



9日15時レーダー図

9日21時レーダー図

10日3時レーダー図

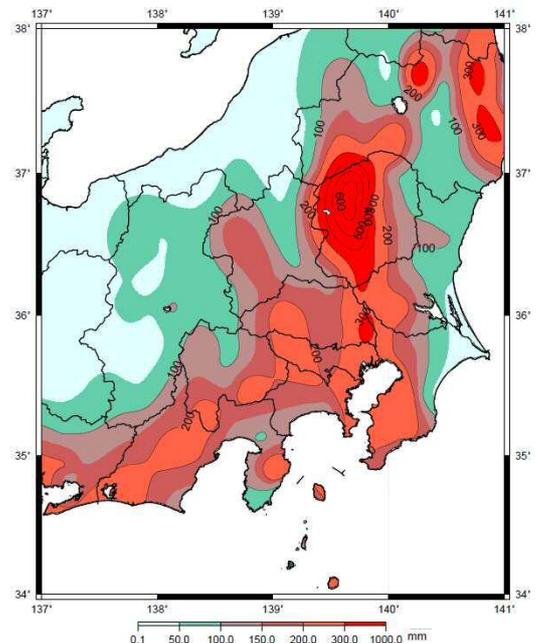
10日9時レーダー図

右の図は、9月8日から10日までに、アメダスで観測された累加降水量の分布図ですが、関東地方を縦断するように降水量が増加していることが判ります。

線状降水帯が長時間居座ったことから、栃木県日光市を中心に600ミリを超える記録的な降水量となっています。

また、埼玉県の一部地域においても300ミリを超える降水量となっていることが判ります。

8日から10日までにアメダスで観測された累加降水量の分布図(日本気象協会より)

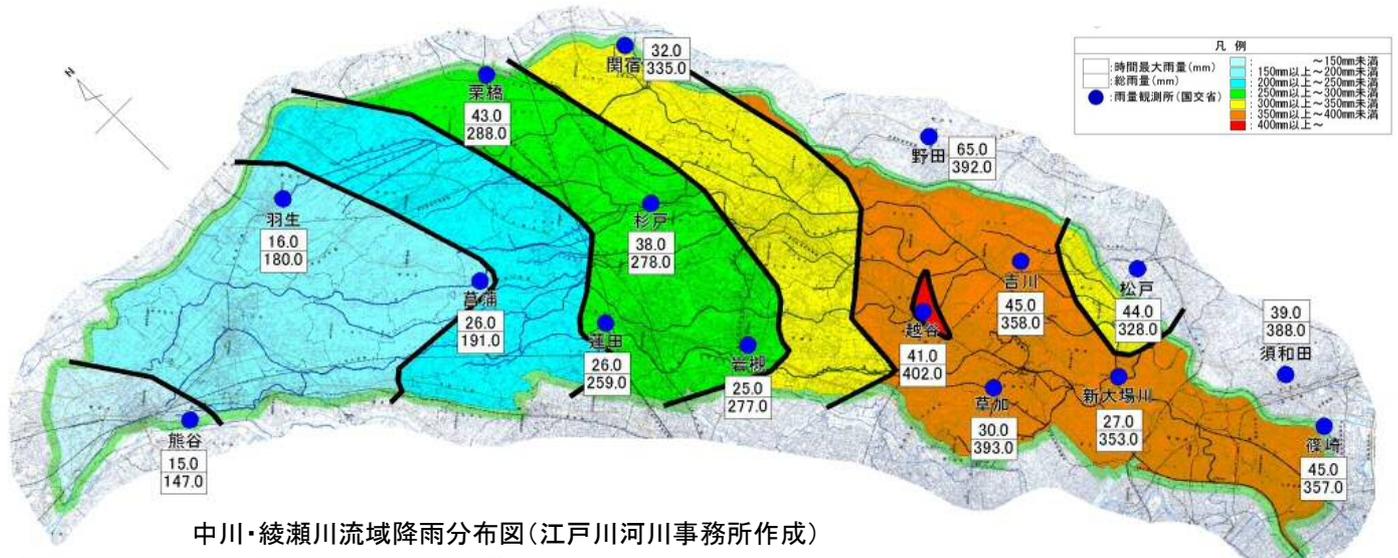


# 中川・綾瀬川流域の雨の状況

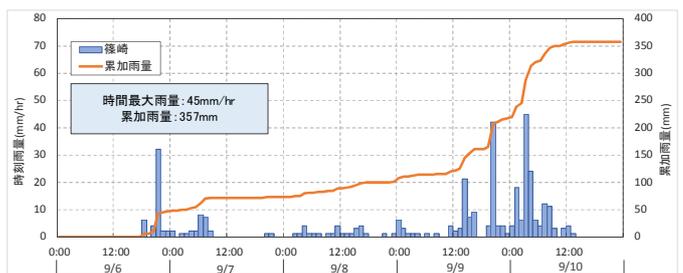
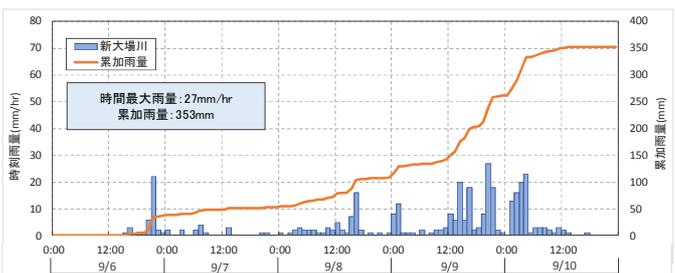
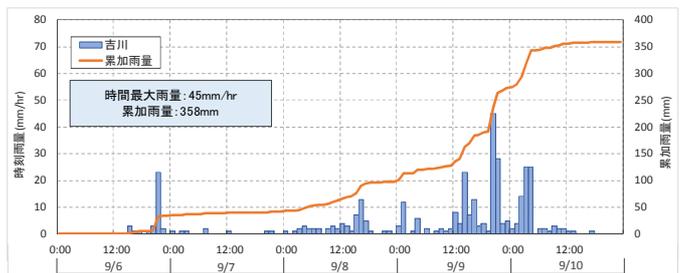
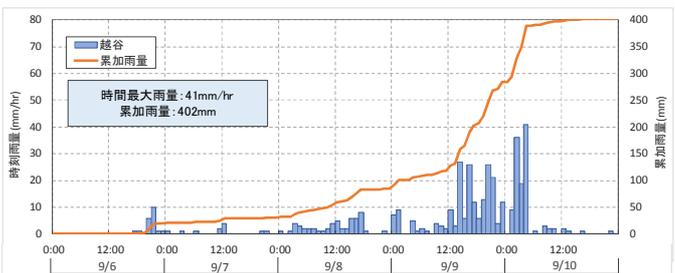
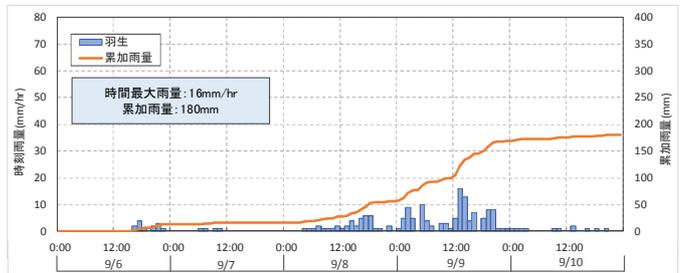
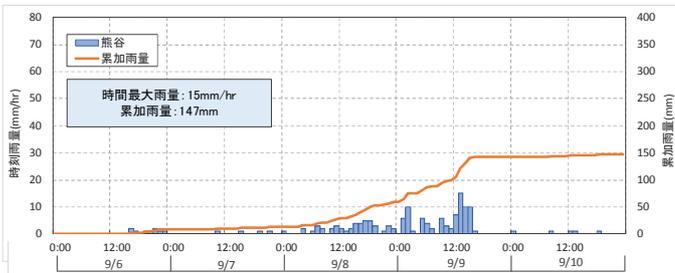
下の図は、国土交通省の雨量観測所における9月6日0時から10日23時までの1時間毎の観測値を元に、中川・綾瀬川流域の降雨分布を表したものです。

中流域から下流域に掛けては、線状降水帯と重なったことから降水量が多く、越谷雨量観測所では402ミリ、吉川雨量観測所では358ミリ、新大場川雨量観測所では353ミリ、篠崎区雨量観測所では357ミリの累加雨量を記録しました。

また、上流域では中・下流域と比べ降水量が少なく、熊谷雨量観測所では147ミリ、羽生雨量観測所では180ミリの累加雨量となっています。

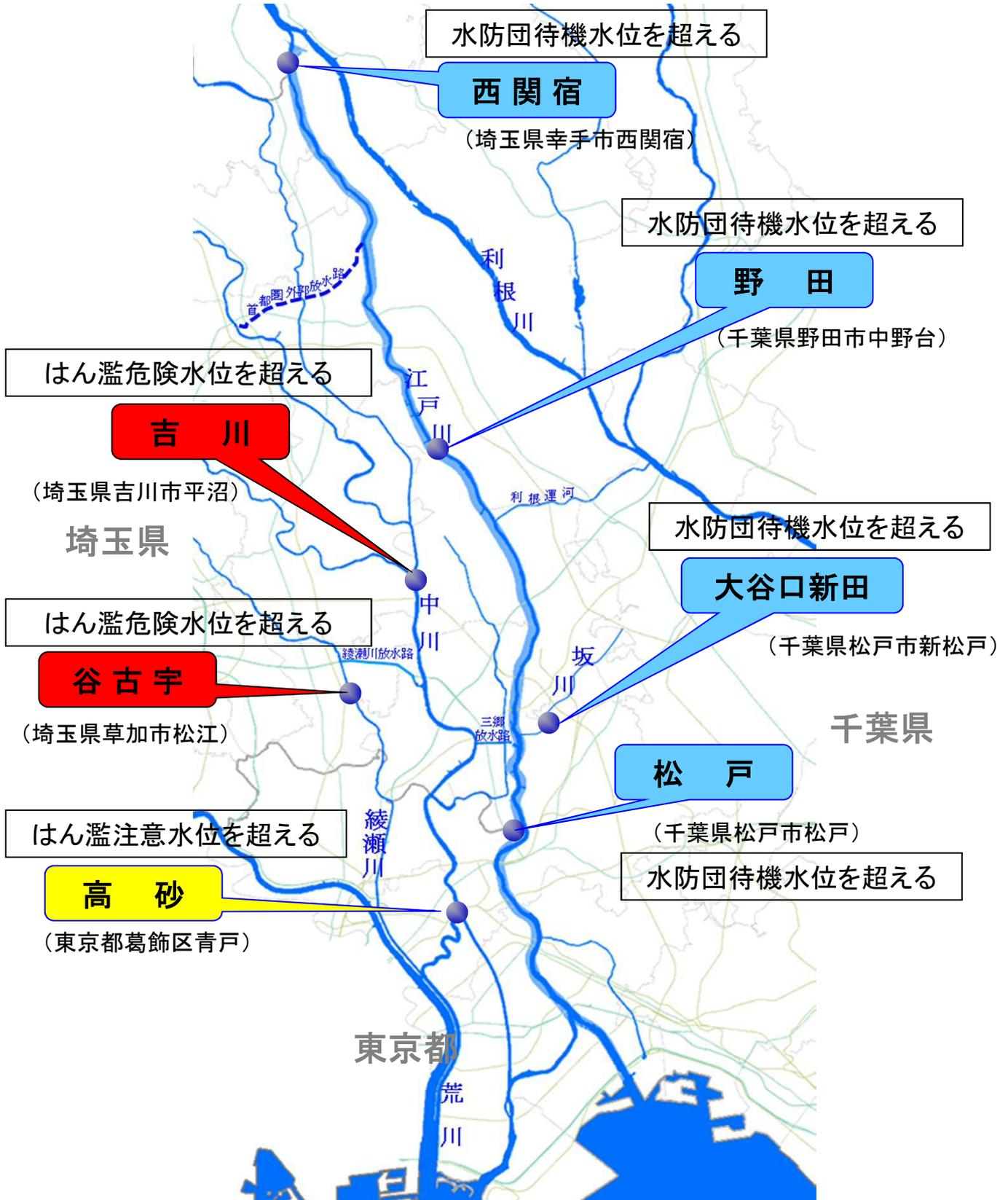


中川・綾瀬川流域降雨分布図(江戸川河川事務所作成)



### 3. 出水概要

#### 江戸川河川事務所管内 水位観測所位置図



※松戸と高砂については、避難判断水位及び、はん濫危険水位の設定はありません。

# 水防警報基準地点

# 洪水別最高水位 (m)

※速報値につき  
今後修正の場合があります

単位(m)

河川名	観測所名	既往最高水位					H27.9.9 台風18号	基準水位				
		S10.9.26	S22.9.16 カスリーン台風	S41.6.29 台風4号	S44.8.22 台風9号	H3.9.19 台風18号		水防団 待機 水位	氾濫 注意 水位	避難 判断 水位	氾濫 危険 水位	計画高 水位
江戸川	西関宿	/	8.85 YP.+17.43	/	/	/	5.47 YP.+13.85	4.50 YP.+12.88	6.10 YP.+14.48	8.10 YP.+16.48	8.40 YP.+16.78	9.12 YP.+17.50
	野田	/	6.24 YP.+11.87	/	/	6.26 YP.+9.55	4.60 YP.+7.89	6.30 YP.+9.59	8.20 YP.+11.49	8.50 YP.+11.79	9.34 YP.+12.63	
	松戸	6.81 YP.+6.81	/	/	/	5.25 YP.+5.25	4.00 YP.+4.00	5.70 YP.+5.70	/	/	8.13 YP.+8.13	
中川	吉川	/	/	3.70 AP.+4.39	/	/	4.50 AP.+4.25	3.30 AP.+3.05	3.60 AP.+3.35	3.80 AP.+3.55	4.20 AP.+3.95	4.75 AP.+4.50
	高砂	/	/	/	3.53 AP.+3.26	2.70 AP.+2.64	2.40 AP.+2.34	2.70 AP.+2.64	/	/	3.41 AP.+3.35	
綾瀬川	谷古宇	/	/	/	/	4.01 AP.+4.01	3.78 AP.+3.73	2.70 AP.+2.65	3.00 AP.+2.95	3.10 AP.+3.05	3.50 AP.+3.45	4.10 AP.+4.06
坂川	大谷口 新田	/	/	/	/	4.13 YP.+4.13	2.75 YP.+2.75	2.70 YP.+2.70	3.20 YP.+3.20	3.40 YP.+3.40	3.80 YP.+3.80	4.20 YP.+4.20

上段:量水標の読み値。

下段:量水標の読み値を測量成果により、YP.又はAP.に変換した値。

## 出水状況(中川・綾瀬川)



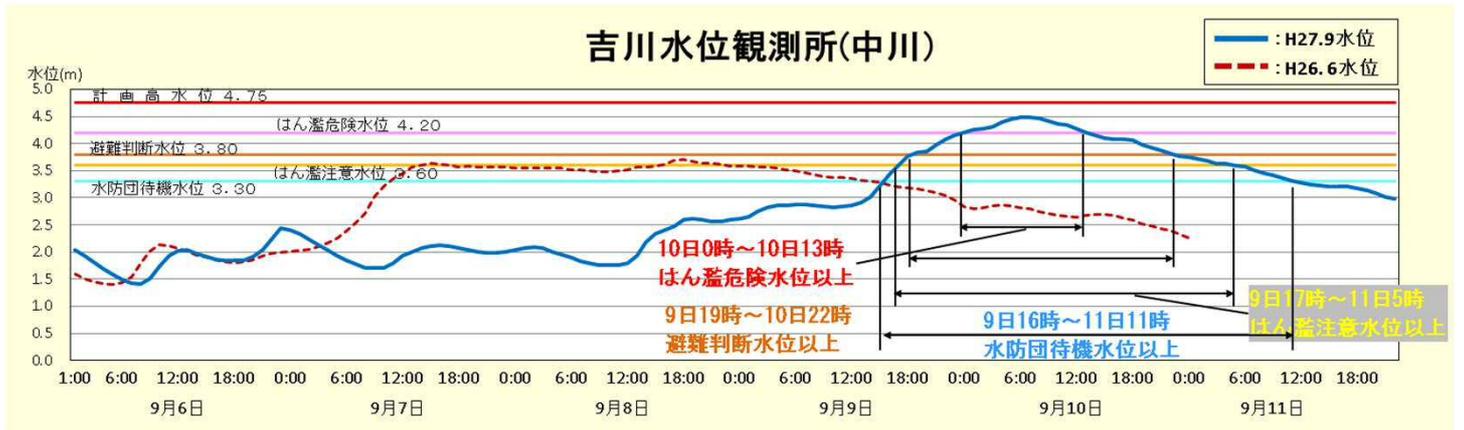
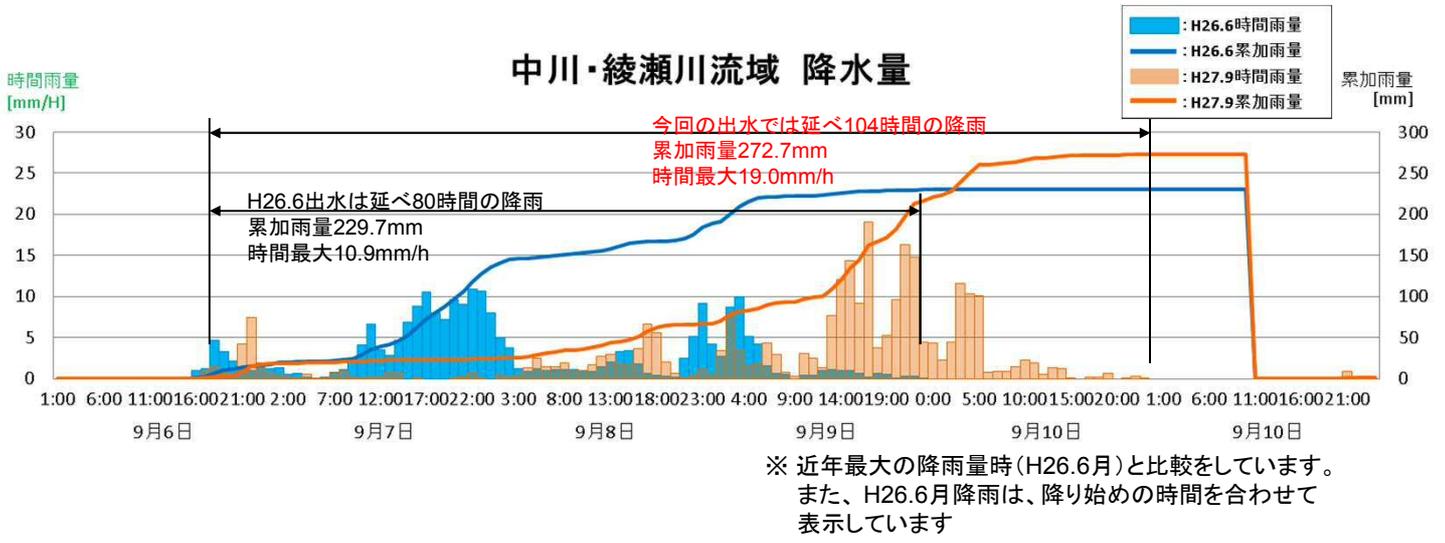
中川 吉川水位観測所 吉川橋付近 30.6K



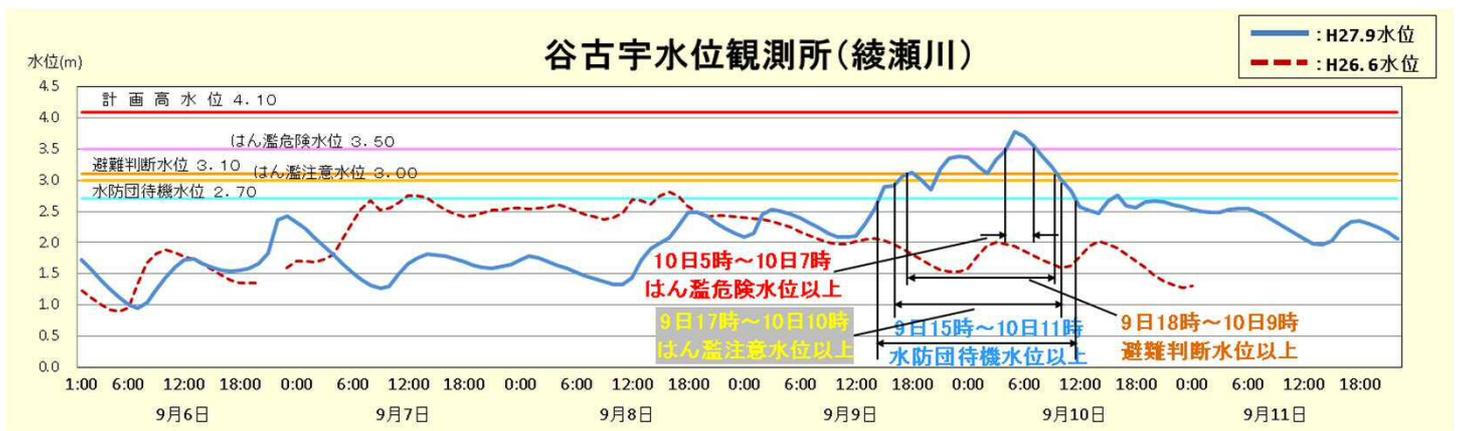
綾瀬川 谷古宇水位観測所付近 14.4K

# 雨量・水位状況図(中川・綾瀬川)

※速報値につき  
今後修正の場合があります



※H26.6の水位は、中川流域降水量と時間を合わせて表示しています



※H26.6の水位は、中川流域降水量と時間を合わせて表示しています

中川・綾瀬川流域では、断続的に雨が降り続いたことから、  
累加雨量が約273ミリに達し、吉川水位観測所及び谷古宇水位観測所において、  
はん濫危険水位を超過した。

## 4. 江戸川河川事務所の体制等

### (1) 江戸川河川事務所の洪水対策支部体制

#### 体制の経過

日付	時刻	支部体制
9月9日	13:00	注意体制
9月9日	20:30	警戒体制
9月11日	7:00	注意体制
9月12日	17:20	解除

9月9日13時00分より注意体制に入り、江戸川・中川・綾瀬川流域の降雨状況、江戸川・中川・綾瀬川水位状況を監視し、洪水に備えました。

中川・綾瀬川の水位を下げるため首都圏外郭放水路、三郷放水路、八潮排水機場、綾瀬川放水路の各排水機場を稼働しました。

坂川では、本川からの逆流を防止するため水門を閉め、松戸排水機場を稼働しました。

### (2) 水防警報

洪水によって災害が起こる恐れがある江戸川河川事務所所管の河川において、水防警報を公表し、水防管理団体に対して水防活動を行う必要がある旨を通知しました。

河川名	基準観測所	警報種別	発令日時	
江戸川	西関宿	待機	9月10日	1:30
		解除	9月11日	10:10
	野田	待機	9月10日	1:00
		解除	9月11日	12:10
	松戸	待機	9月10日	0:30
		解除	9月11日	10:10
中川	吉川	待機	9月9日	15:30
		出動	9月9日	17:10
		解除	9月11日	10:10
	高砂	待機	9月9日	16:35
		出動	9月10日	4:40
		解除	9月10日	7:30
綾瀬川	谷古宇	待機	9月9日	14:50
		出動	9月9日	17:00
		解除	9月10日	12:10
坂川	大谷口新田	待機	9月10日	5:10
		解除	9月10日	9:10

※ 水防警報は、降雨の状況及び水位の状況、潮位等を勘案して発表しています。

### (3) 洪水予報

台風18号の影響により洪水の恐れがあるとして、気象庁と共同して中川及び綾瀬川(谷古宇区間)において洪水予報(はん濫注意情報)を発表しました。

洪水予報の内容は、予測時点から3時間後までの降雨の状況及び水位の上昇量について記載されており、発表と同時に関係自治体宛に周知しました。

予報区域 【基準観測所】	河川名	日時	内容
中川 【吉川水位観測所】	中川	9月9日 18:10	はん濫注意情報発表
		9月9日 21:40	はん濫警戒情報発表
		9月10日 1:30	はん濫危険情報発表
		9月11日 5:40	はん濫注意情報解除
綾瀬川(谷古宇区間) 【谷古宇水位観測所】	綾瀬川	9月9日 17:20	はん濫注意情報発表
		9月9日 17:40	はん濫警戒情報発表
		9月10日 4:30	はん濫危険情報発表
		9月10日 11:20	はん濫注意情報解除

**正規**

綾瀬川(谷古宇区間)はん濫危険情報  
綾瀬川(谷古宇区間)洪水予報第3号  
 洪水警報  
 平成27年09月10日04時30分  
 江戸川河川事務所 熊谷地方気象台 気象庁予報部 共同発表

(見出し)  
 綾瀬川(谷古宇区間)では、はん濫危険水位(レベル4)に到達 はん濫のおそれあり

(主文)  
 綾瀬川の谷古宇水位観測所(草加市)では、10日04時20分頃に、はん濫危険水位(レベル4)に到達しました。川沿いの越谷市、草加市、八潮市、足立区のうち、堤防の無い、または堤防の低い箇所などでははん濫するおそれがありますので、各自安全確保を図るとともに、市町村からの避難情報に注意して下さい。

(雨量)  
 多いところで1時間に70ミリの雨が降っています。  
 この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	08日04時20分~10日04時20分までの流域平均雨量	10日04時20分~10日07時20分までの流域平均雨量の見込み
綾瀬川流域	220ミリ	14ミリ

(水位)  
 綾瀬川(谷古宇区間)の水位観測所における水位は次の通りと見込まれます。

観測所名	水位危険度				
	水位(m)又は流量(m3/s)	レベル1 水防団 待機	レベル2 はん濫 注意	レベル3 避難 判断	レベル4 はん濫 危険
谷古宇 水位観測所 (草加市)	10日04時20分の状況	3.65			
	10日05時20分の予測	3.69			
	10日06時20分の予測	3.60			
	10日07時20分の予測	3.52			

水位のグラフは各水位間を按分したものです。  
 レベル4については、はん濫危険水位と計画高水位を按分しており、はん濫危険水位=計画高水位の場合は最大になります。

**正規**

中川はん濫警戒情報  
中川洪水予報第2号  
 洪水警報(発表)  
 平成27年09月09日21時40分  
 江戸川河川事務所 熊谷地方気象台 気象庁予報部 共同発表

(見出し)  
 中川では、避難判断水位(レベル3)に到達 水位はさらに上昇

(主文)  
 中川の吉川水位観測所(吉川市)では、9日21時10分頃に、避難判断水位(レベル3)に到達。水位はさらに上昇する見込みです。川沿いの北葛飾郡松伏町、吉川市、三郷市、越谷市、草加市、八潮市、葛飾区、足立区のうち、堤防の無い、または堤防の低い箇所などでははん濫のおそれがありますので、市町村からの避難情報に注意して下さい。

(雨量)  
 多いところで1時間に50ミリの雨が降っています。  
 この雨は当分この状態が続くでしょう。

流域	07日21時10分~09日21時10分までの流域平均雨量	09日21時10分~10日00時10分までの流域平均雨量の見込み
中川流域	173ミリ	25ミリ

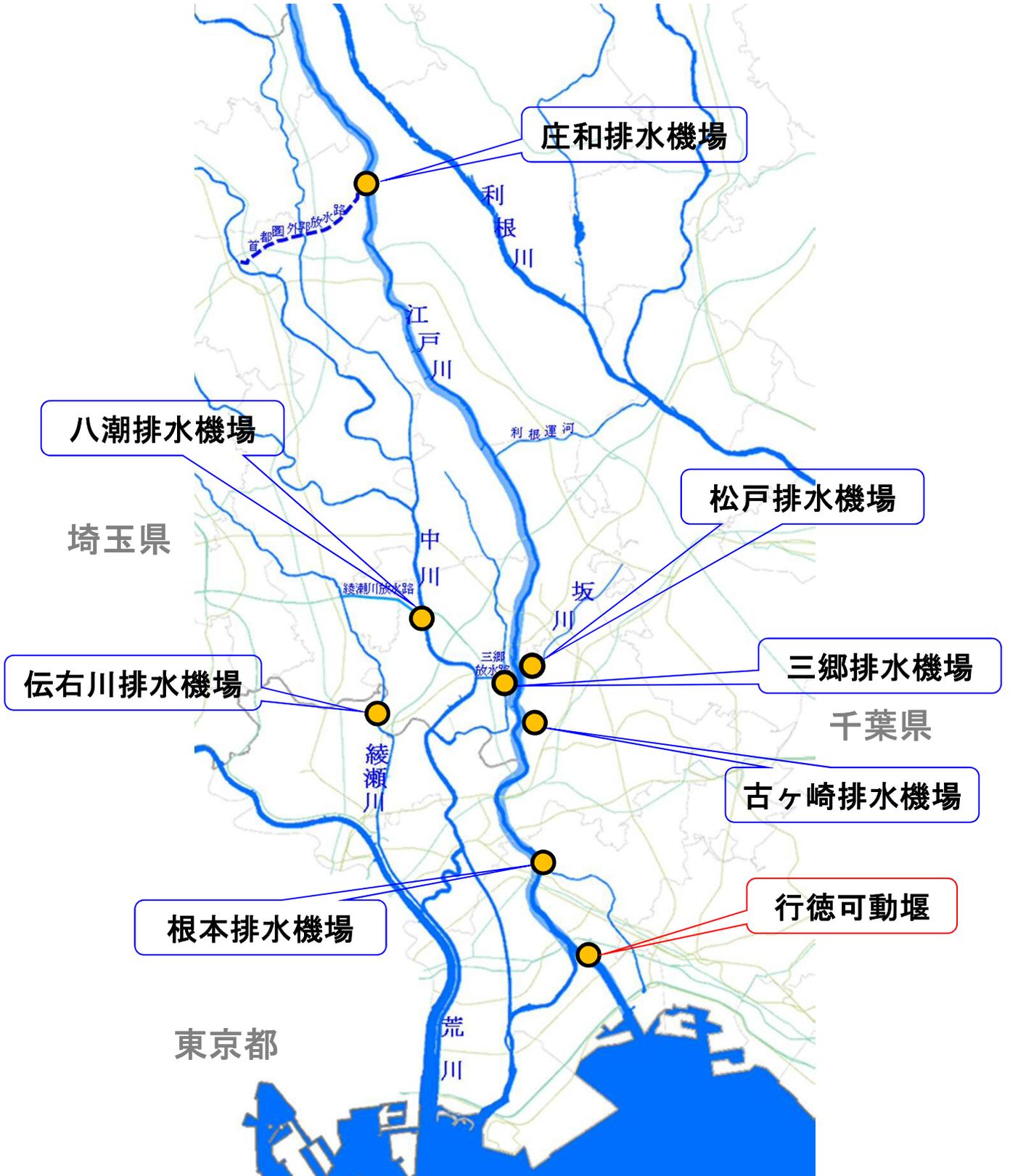
(水位)  
 中川の水位観測所における水位は次の通りと見込まれます。

観測所名	水位危険度				
	水位(m)又は流量(m3/s)	レベル1 水防団 待機	レベル2 はん濫 注意	レベル3 避難 判断	レベル4 はん濫 危険
吉川 水位観測所 (吉川市)	09日21時10分の状況	3.99			
	09日22時10分の予測	4.09			
	09日23時10分の予測	4.17			
	10日00時10分の予測	4.19			

水位のグラフは各水位間を按分したものです。  
 レベル4については、はん濫危険水位と計画高水位を按分しており、はん濫危険水位=計画高水位の場合は最大になります。

# 5. 江戸川河川事務所の取り組み

## 江戸川河川事務所管内 排水機場等位置図



※速報値につき  
今後修正の場合があります

## (1)排水機場の稼働状況

施設名	施設規模			稼働台数		稼働時間 稼働開始時間 稼働終了時間 (延べ稼働時間)	累積排水量 【50mプール換算値】
	排水量 (m <sup>3</sup> /s)	設置ポンプ		稼働台数			
		容量 (m <sup>3</sup> /s)	台数				
庄和排水機場 (首都圏外郭放水路)	200	50	4	4	開始 9日 14時47分 終了 12日 23時45分 (159.5時間)	約1,837万m <sup>3</sup> 【約12,247杯分】	
三郷排水機場 (三郷放水路)	200	20	1	1	開始 9日 14時20分 終了 11日 21時30分 (233.8時間)	約3,327万m <sup>3</sup> 【約22,180杯分】	
		30	1	1			
		50	3	3			
伝右川排水機場	15	5	1	1	開始 9日 15時20分 終了 10日 9時10分 (35.8時間)	約78万m <sup>3</sup> 【約520杯分】	
		5	1	1			
		5	1	1			
八潮排水機場 (綾瀬川放水路)	100	25	2	2	開始 9日 15時00分 終了 10日 18時00分 (70.6時間)	約836万m <sup>3</sup> 【約5,573杯分】	
		50	1	1			
松戸排水機場	100	25	2	2	開始 9日 6時23分 終了 13日 18時44分 (37.1時間)	約479万m <sup>3</sup> 【約3,194杯分】	
		50	1	1			
古ヶ崎排水機場	15	7.5	2	2	開始 9日 14時13分 終了 14日 18時57分 (51.5時間)	約139万m <sup>3</sup> 【約927杯分】	
根本排水機場	15	7.5	2	2	開始 9日 20時50分 終了 10日 15時55分 (29.2時間)	約79万m <sup>3</sup> 【約527杯分】	
合計							約7,267万m <sup>3</sup> 【約48,449杯分】

首都圏外郭放水路(第3立坑)



首都圏外郭放水路(第4立坑)



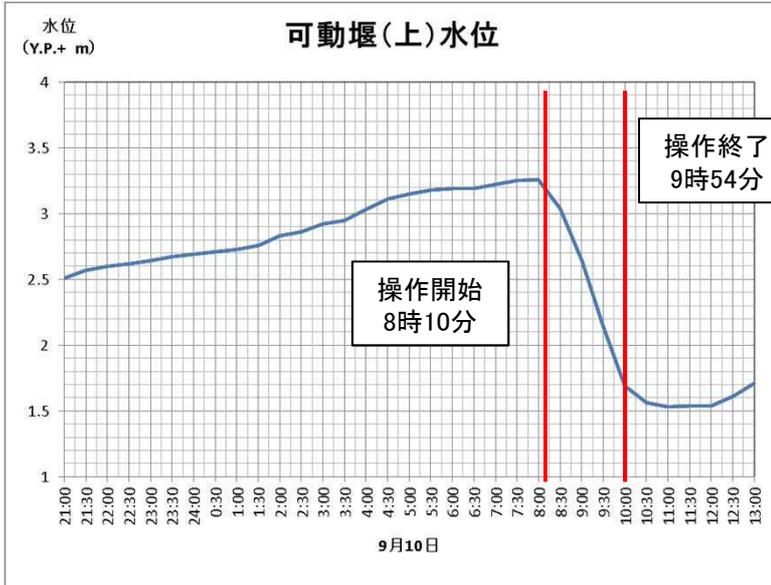
(参考)

荒川下流河川事務所管理の綾瀬川排水機場においては、9日14時15分から11日7時30分まで運転を行い、約1,372万m<sup>3</sup>【50mプール換算で約9,150杯分】の排水を行いました。

※速報値につき  
今後修正の場合があります

## (2)行徳可動堰の開放

行徳可動堰を開放し、江戸川放水路に洪水を流しました。



行徳可動堰開放により江戸川及び旧江戸川の水位が下がる。

行徳可動堰 全開操作 平成27年9月10日

時間	操作内容	可動堰(上)水位 (Y.P.+ m)
8:10	堰2号ゲート開放操作開始	3.28
8:42	堰2号ゲート開放操作完了	2.96
8:45	堰1号ゲート開放操作開始	2.96
9:17	堰1号ゲート開放操作完了	2.53
9:22	堰3号ゲート開放操作開始	2.46
9:54	堰3号ゲート開放操作完了	1.77

平成27年9月12日 15時39分 全閉

行徳可動堰の開放は、平成23年9月の台風15号以来、約4年ぶりの開放となりました。

# 首都圏外郭放水路、三郷放水路の効果

※速報値につき 今後修正の場合があります

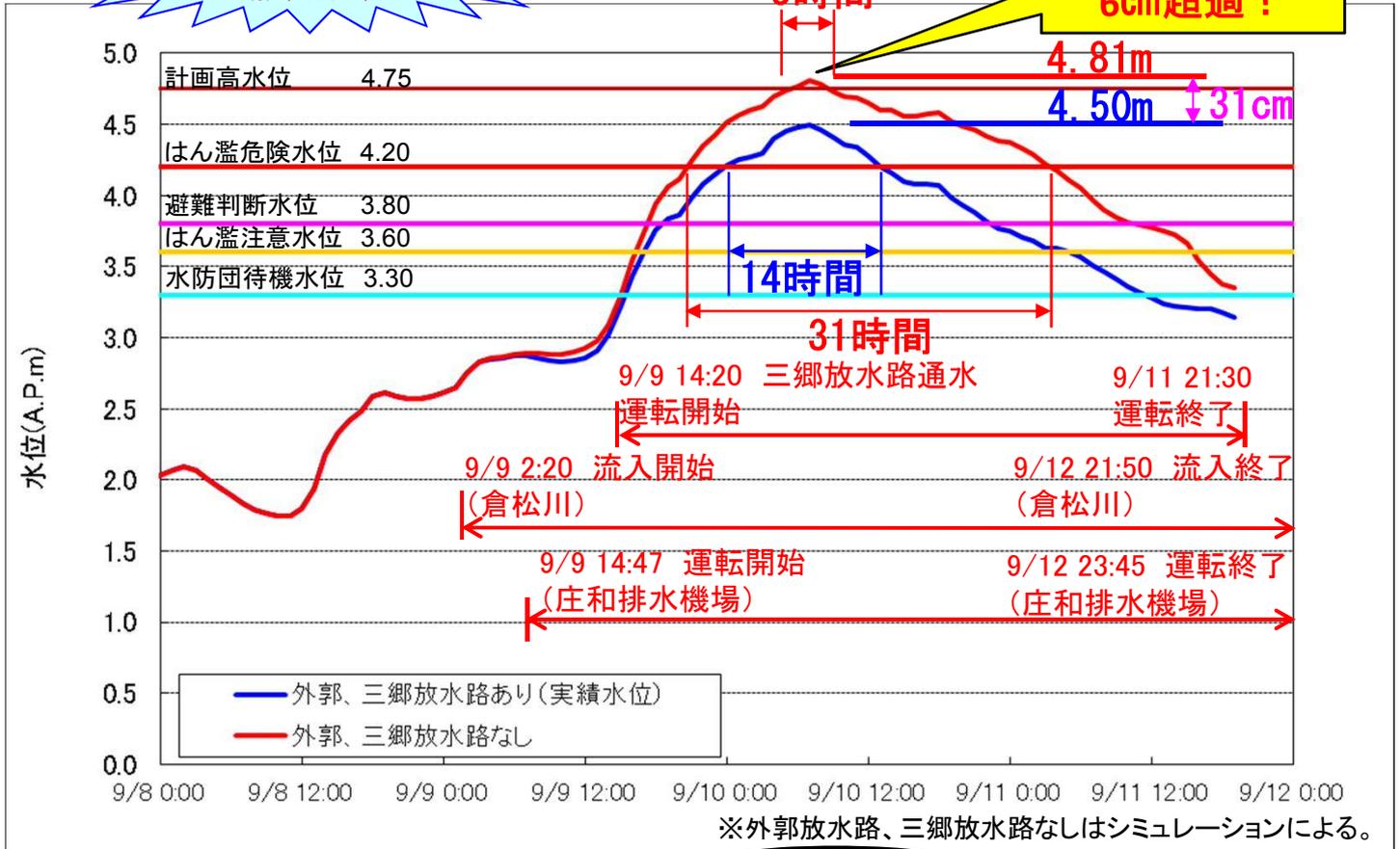
## 治水施設操作により水位低減・浸水被害軽減

洪水調節総量 約1,837万m<sup>3</sup>  
50mプール 約12,247杯分  
※ (1500m<sup>3</sup>)

吉川水位観測所

※ 50mプールの容積: 50×25×1.2 = 1500m<sup>3</sup>

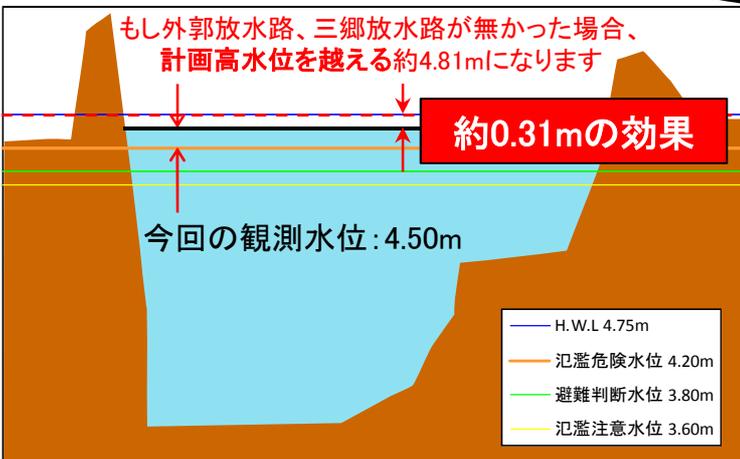
計画高水位を  
6cm超過!



### 中川(吉川地点)の水位低減効果

平成14年の外郭放水路  
通水開始以来  
最大の流入量を記録

### 外郭放水路流入量



順位	年月日	洪水名	総流入量	流入時間
1	平成27年09月09日	台風17号、18号	18,370,000m <sup>3</sup>	159時間30分
2	平成26年06月06日	低気圧	13,426,000m <sup>3</sup>	95時間10分
3	平成20年08月28日	低気圧	11,720,000m <sup>3</sup>	108時間00分
4	平成25年10月16日	台風26号	6,848,000m <sup>3</sup>	57時間40分
5	平成16年10月09日	台風22号	6,720,000m <sup>3</sup>	77時間30分
6	平成24年05月03日	低気圧	6,678,000m <sup>3</sup>	62時間28分
7	平成18年12月26日	低気圧	6,621,000m <sup>3</sup>	50時間00分
8	平成18年10月16日	前線降雨	5,104,000m <sup>3</sup>	56時間11分
9	平成23年07月19日	台風6号	4,907,000m <sup>3</sup>	64時間09分
10	平成14年07月09日	台風6号	4,564,000m <sup>3</sup>	69時間44分
11	平成25年09月15日	台風18号	4,475,000m <sup>3</sup>	50時間30分
12	平成16年10月20日	台風23号	4,173,000m <sup>3</sup>	59時間55分
13	平成15年8月15日	前線豪雨	4,081,000m <sup>3</sup>	62時間41分
14	平成23年09月21日	台風15号	3,446,700m <sup>3</sup>	45時間50分
15	平成18年07月17日	梅雨前線	3,431,000m <sup>3</sup>	72時間45分

# 綾瀬川放水路、綾瀬排水機場の効果

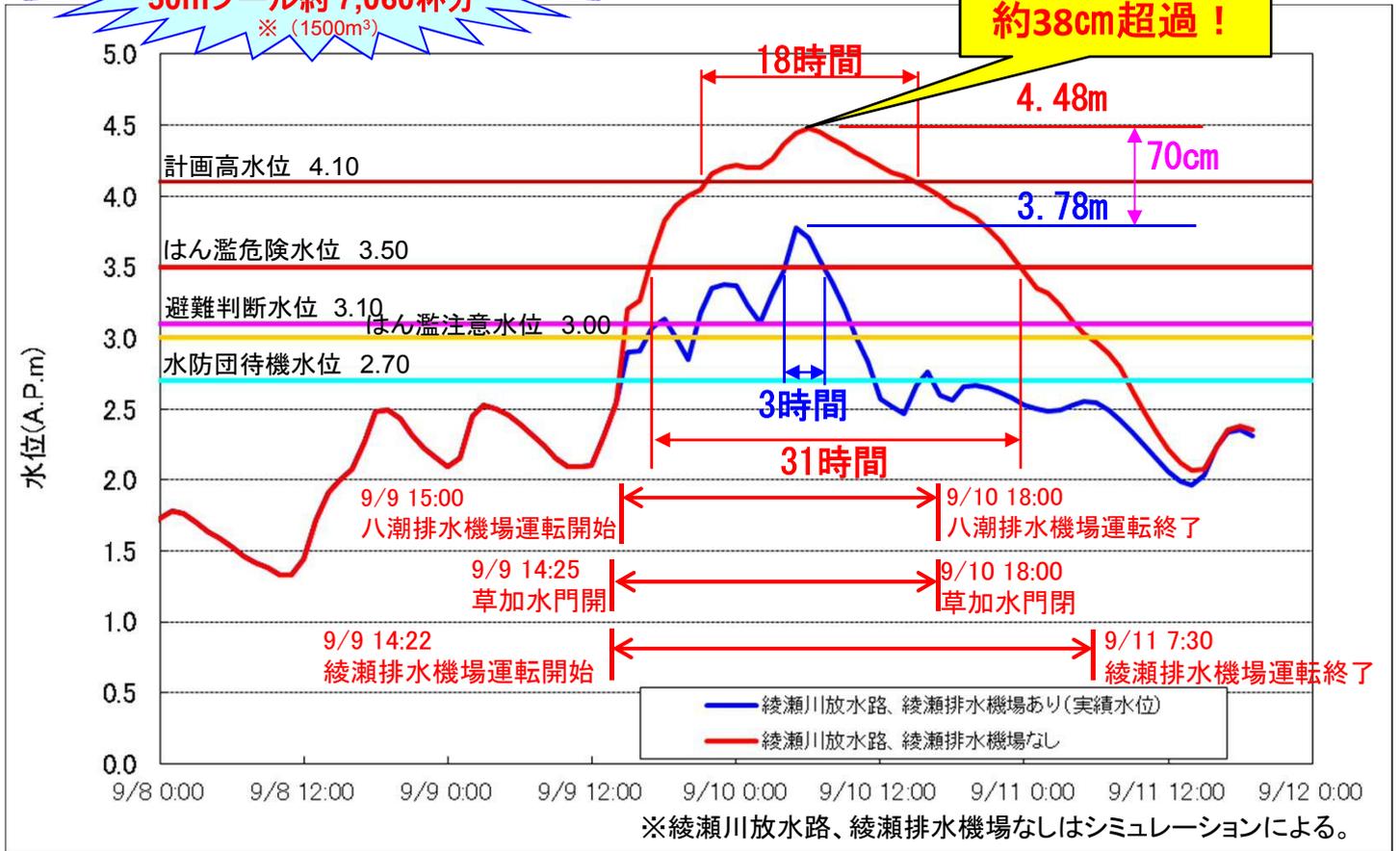
※速報値につき 今後修正の場合があります

## 治水施設操作により水位低減・浸水被害軽減

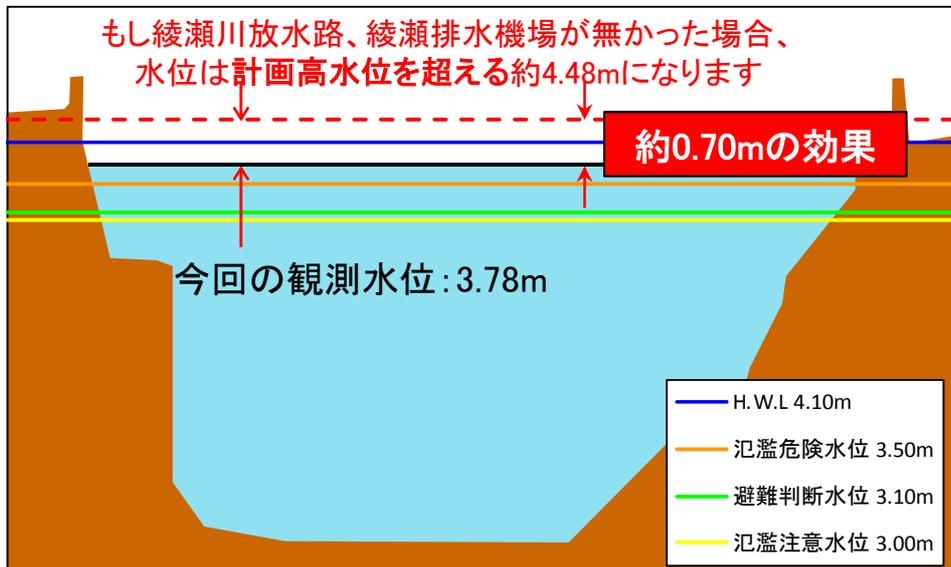
**八潮排水機場**  
 ポンプ排水総量 約1,059万 $m^3$   
 50mプール約 7,060杯分  
 ※ (1500 $m^3$ )

谷古宇水位観測所 ※ 50mプールの容積:  $50 \times 25 \times 1.2 = 1500m^3$

**計画高水位を  
約38cm超過!**



### 綾瀬川(谷古宇地点)の水位低減効果



### (3)HPによる情報提供

江戸川河川事務所では、ホームページにより出水(洪水)時の各種情報提供を実施しています。

The screenshot displays the homepage of the Edo River Office (江戸川河川事務所). The page features a header with the logo and name of the office, and a search bar. A main navigation menu on the right includes links for 'River Disaster Information', 'Information from the Office', 'Admission/Reservation Information', 'Office Organization', and 'River Usage'. The main content area is titled '江戸川河川事務所からの災害情報' (Disaster Information from Edo River Office) and includes a section for '最新ののお知らせ' (Latest News) dated September 10, 2025. The central focus is a detailed disaster information page for Typhoon 18 (H27台風18号), which includes a timeline of events: the establishment of a flood response branch on September 9, the lifting of the branch on September 12 at 17:20, and the transition to a warning system. It also provides real-time data links for water levels and rainfall, and a PDF report on flood warnings. A sidebar on the left contains a 'Latest News' section and a 'Spotlight' section with images of river scenes.

### 江戸川河川事務所HP「災害情報」

<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/index.html>

[http://www.ktr.mlit.go.jp/saigai/edogawa\\_dis00064.html](http://www.ktr.mlit.go.jp/saigai/edogawa_dis00064.html)